

JAだより

いわい



岩井農業協同組合・〒306-0631 茨城県坂東市岩井2229番地 TEL 0297-35-8331(代)



特産野菜PRで国消国産強化・・・P3~6



JA岩井ホームページでJAだよりがご覧になれます



あんしん **NOU NEN** なつとく

農業者年金

コロナに物価高、自然災害... 農家の将来は不安だらけ！
このままじゃハナちゃんと結婚できないよ～

タガヤス君と結婚したいけど 農家って老後が不安だわ。
サラリーマンなら厚生年金があるけど...

大丈夫！



農業者年金がある！

ニヤリ♪

たとえば 老後の支出＝月々約22万円(高齢農家世帯／総務省家計調査などより)
国民年金の支給額＝月々約13万円(夫婦合わせて／40年加入の場合)

サラリーマンなら月々約22万円もらえるのに...
(※厚生年金モデルケース)



全然足りない!?

農業者年金に加入したら ※農業者年金の受給額(年額)の試算

加入年齢	納付期間	保険料額	保険料 納付総額	年金額(年額)		想定される受給総額	
				男性	女性	男性	女性
20歳	40年	1万円	780万円	58万円	49万円	1,243万円	1,315万円
		2万円	960万円	76万円	64万円	1,635万円	1,730万円
30歳	30年	1万円	660万円	45万円	38万円	968万円	1,024万円
		2万円	720万円	50万円	43万円	1,085万円	1,148万円
40歳	20年	2万円	480万円	30万円	25万円	642万円	680万円
50歳	10年	2万円	240万円	13万円	11万円	286万円	303万円

「独立行政法人農業者年金基金パンフレット
「知って得する農業者年金」
「農業者年金で生活の安定を考えませんか？」
令和4年5月版より」

「農業者年金」は、農家のことを知り尽くした
農家のための年金です！

ご加入に関するお問い合わせは
JAまでお気軽に



次回から農業者年金の
安心・納得ポイントを
解説していくニヤリ♪



早乙女ハナ



畑タガヤス

女性目線で「食べ方」を提案しよう

JAと岩井農協園芸部は10月30日、女性生産者をメインとした秋冬洋菜類中間目ぞろえ会を四支部それぞれに開催し、計200人が出席しました。女性ならではの目線で出荷規格・品質をチェックし、丁寧な箱詰めでブランド力（商品力）を維持するのが目的です。

西支部に出席した風見組合長は、「レタスはサラダだけではなく、温野菜でも美味しく食べられる野菜。料理をする機会が多い女性の目線で、消費者に選ばれるレタスづくりだけでなく、食べてもらえる料理法をどんどん提案していこう」とあいさつしました。



消費者に選んでもらえる品質について説明する市場担当者

ほ 秋冬惣レタス類の品質検査を実施

JAグループ茨城 惣レタス流通部会

県西地区4JA（北つくば・常総ひかり・茨城おつみ・岩井）とJA全農いばらき、市場担当者で組織される惣レタス流通部会は10月中旬、レタス類の品質規格検査を行いました。

同流通部会のメンバーが各JAの集荷場を巡回して、出荷されているレタス類の品質、選別や箱詰め状況など、10以上の検査項目を5段階で評価しました。



今シーズンは生育期の8～9月が例年にないほどの猛暑続きであったことから、レタス類の変形や大きさのバラつき、虫害が懸念されましたが、当JAのレタス類は、鮮度感や包装・箱詰め状況などが良好との判定をいただきました。

市場担当者が主となり行われた品質規格検査（JA岩井野菜予冷センターにて）

学校給食用の野菜を納品

JAでは坂東市岩井学校給食センターへ、定期的にねぎやセルリーなどの特産野菜を納めており、学校給食の材料として使用されています。納品の際には虫やホコリなどの異物混入を防ぐため、ビニール等で密封した状態で給食センターまで搬送し、受け渡し時に重量や品質チェックが行われています。

この日納めたねぎは、豚汁の材料として使用され、気温が下がってくるこの時期に、子どもたちの体を温めました。



ねぎの受け渡しをする海老原一博予冷センター担当(左)

県知事にレタス料理ふるまう

JAでは10月26日、坂東市の木村敏文市長や園芸部役員ら20人が県庁の大井川知事を訪問しました。出荷最盛期を迎えた旬の「惚レタス」を手渡し、「レタスは硬くて重量があるものより、フワッと軽い方が甘みがあっておいしい」と、見分け方を紹介しました。

また、電子レンジで温めたレタスに、オイスターソースとごま油をかけるだけの簡単料理「瞬間消滅レタス」を試食として提供すると、大井川知事は「これはおいしい。自分でもやってみたい」と話していました。



ハッピーハロウィン🎃惚レタス!



JAと園芸部は10月28日、仙台みやぎ生協桜ヶ丘店・幸町店(宮城県仙台市)の2店舗で、惚レタスをメインとした🎃秋冬野菜の消費宣伝を行いました。

この日はハロウィン(10/31)前の週末ということもあり来店者が多く、販促活動に参加した園芸部役員らが、新鮮なレタスの選び方や惚レタスのおいしさを説明しました。

ハッピーを着て、宣伝する倉持次男園芸部副部長(JA第一理事)

地元の小学生が野菜予冷センターを見学

10月26日、岩井第二小学校の3年生66人が野菜予冷センター見学に訪れました。施設内の真空予冷装置や大型冷蔵庫、最盛期を迎えたレタス類の搬入・荷下ろし作業を見学しながら、自分たちの生活と農業のつながりについて理解を深めました。

児童からは、「レタスを包んで出荷するのはどうしてですか」「レタス以外にはどんな野菜が出荷されますか」などの質問があり、木村勉予冷センター主任は、レタスを包んでいる鮮度保持フィルムや野菜の種類について丁寧に答えました。



ラップされているレタスを手にとって説明する木村主任

暑さ・寒さもレタスです

JAと青年部は10月21日、岩井中学校の生徒34人を対象に、レタスの収穫と試食会を行いました。青年部員の圃場で行われた収穫体験では、同役員が旬を迎えた採りごろレタスの見分け方や切り方を指導した後、生徒たちはお土産用の袋いっぱいになるまで収穫を楽しみました。

その後、岩井中学校の中庭でのレタス試食会では、「惚レタスサラダ」と「惚レタス鍋ポトフ」をJA職員がふるまい、暑い時にはサラダ、気温が下がってきたら温野菜での食べ方を紹介しました。

参加した生徒たちは「シャキシャキレタスがドレッシングにマッチしておいしい」「熱々のポトフを食べて、体が温まった」などと話し、おかわりしながら旬のレタスを味わいました。



収穫の説明をする青年部役員



惚レタス鍋ポトフやサラダを勧める職員

種まきから始まったレタスを収穫



七重食育研究会とJAは11月6日、七重小学校の5年生31人とレタスの収穫体験を行いました。児童と一緒に8月21日に播種、9月11日に定植したものが収穫を迎えました。

児童たちは収穫したレタスを一玉ずつラッピングしながら「喜んで食べてもらえるようにきれいにラップしたい」「自分が育てたレタスのラップ作業はうれしくて楽しい」と話し、同校の児童たちのお土産になったほか、地元の福祉施設にお届けしました。

大玉でたくさん収穫できました

七重小学校の授業に参加

JAでは10月5日、七重小学校の授業「テーマ：JAさんに聞いてみよう」に参加しました。同校の5年生が野菜収穫体験などを通じて農家やJAに接する機会が多いことから、日々のJAの仕事を調べてみようとなりました。

授業では、児童から「JA職員の一日の仕事はどんなことをしていますか」「仕事でうれしかったことは何ですか」などの質問が出されると、参加した張替輝彰岩井北支店長や稲葉拓翔担当は、「常にお客様と接する仕事なのでやりがいがある」「お客様が喜ぶような対応ができた時には、自分もうれしい」などと丁寧に返答しました。




児童からの質問に答える稲葉担当(右)

地元の「食」と「農」について国内外に発信

農産物の安全管理体制について伝える

11月1日、日本国際協力センター（JICE）と国際協力機構（JICA）連携の下、開発途上国7か国の研修員8人が野菜予冷センターを視察し、農産物の安全管理体制について学びました。

鈴木新一予冷センター長が通訳を通じて、場内の設備や野菜の流通・販売代金精算の仕組みなどを説明し、吉岡和久総務部長は出荷されているレタス・ねぎと、英訳した資料を用いて産地が取組むトレーサビリティ（生産から販売までの履歴や所在がたどれる仕組み）やGAP（農業生産工程管理）、産地が果たすべき役割と責任について説明しました。

視察に来た研修員からは、自国（ウクライナ、カンボジアなど）での農産物の安全管理の取組みと比較しながら、熱心に質問していました。



レタスの契約出荷について説明



安全・安心の取組みについて説明

がっこう ばんどうみらい楽考

10月29日、「ばんどうみらい楽考（テーマ：坂東の野菜と簡単そば打ち体験）」が開かれ、参加した市民20人が管内の名産品・特産野菜についての理解を深めました。

講師として参加した染谷篤史企画管理課長が、ねぎ・レタスのおいしさの秘密や特産野菜として定着するに至った歴史を、風土や流通の変化、産地の取組みなどから説明しました。

また、合わせて企画された中田農園（神大実地区）の常陸秋そばを使用した簡単そば打ち体験では、中野広也経済センター長・古矢和寛共済LA主任が先生役となり、参加者らと一緒にそば打ちを実践しました。

実食では、参加者らが打った「二八そば」と、特産野菜の「惚レタスサラダ」「ねぎ天ぷら」を味わいました。



そば打ち体験

（職員はピンクの惚レタスエプロン着用）



特産野菜とそばを実食

理事会だより

令和5年10月27日

主な報告事項

- ① 9月末実績について
- その他

主な協議事項

- ① 令和5年度事業協力者奨励について
- ② 本店信用事業窓口業務の移管について
- ③ 店舗外ATM（アグリセンター・経済センター）の廃止について
- ④ マネロン・テロ資金供与対策にかかる役員研修について
- その他

今月の表紙



中山武男さん（辺田）のお孫さん
晴心くん（7） 莉央ちゃん（3）

グラウンドゴルフ県大会出場

JAバンク茨城は10月17日、いこいの村酒沼で第17回年金友の会グラウンドゴルフ交流大会を開き、JA岩井年金友の会からは、7支部それぞれの予選会を勝ち抜いた計22人が出場しました。

参加者503人がA・B・Cの3ブロックに分かれて競技を行い、岩井の選手たちは上位入賞とはならなかったものの、広い会場で天候にも恵まれプレーを楽しみました。



県大会に出場した岩井の選手たち

JAだよりいわい No.528 / 発行所 岩井農業協同組合 / 発行人 風見晴夫 / 編集 企画管理課 / 印刷 生文社(株)



JAは、お子様の“学びたい”を応援します！



証書型教育ローン 商品概要

- ◆ご利用いただける方
 - ・20歳から70歳まで
 - ・年収150万円以上(准組合員200万円以上)
 - ・当JA指定の保証機関の保証を受けられる方
- ◆使いみち
 - ・大学、専門学校等への入学金、授業料、施設費等、学校へ納入する資金
 - ・就学の為のアパート等入居費用や家電購入等
 - ・就学に必要な備品(パソコン等)購入資金
- ◆ご融資金額
 - ・10万円以上1000万円以内
- ◆ご融資期間
 - ・6ヶ月以上15年以内
- ◆ご返済方法
 - ・元利均等返済(毎月返済または特定月増額返済)
- ◆担保:なし
- ◆保証:当JA指定の保証機関の保証をご利用いただけます。
また、別途保証料0.5~1.0%がかかります。

※上記の証書型の他に、いつでも使えるカード型
変動金利 年4.95%もございます。



お申込(審査)必要書類

- ・運転免許書
- ・健康保険証
- ・所得証明書(源泉徴収票、確定申告書等)
- ・入学、在籍の確認資料(合格証・学生証等)
- ・必要資金の確認資料(給付通知書、振込依頼書等)
- ・扶養確認資料(申込者の源泉徴収票、入学者の健康保険証等)
- ・その他 書類が必要になる場合がございます。

お問い合わせ・審査のお申込みは下記窓口にてお待ちしております。
現在JAとお取引がない方もお申込可能です。
尚、審査の結果ご希望にお応えできない場合もございますので、ご了承ください。



岩井東支店 : 0297-35-0043

岩井南支店 : 0297-38-2706

岩井西支店 : 0297-35-0354

岩井北支店 : 0297-34-2321

本店融資課 : 0297-35-8333